

編集後記

●何度注意しても状況が変わらず「行き詰まった」と感じる瞬間は、先生も子どももつらいことでしょう。特集1にありました「繰り返し同じ注意をされなければならないことそのものが」「重大な子どもの苦しみのサイン」という言葉にはハッとさせられました。膠着（しているように見える）中でも、小さな変化が起きている「奇跡の瞬間」を見つけようとする心を忘れないようにしたいものです。（た）

●ある「言葉」の認知度の高まりが、その状況の把握をもたらし、対応が進んでいくということがあります。ヤングケアラーも、そのような道筋の途上にある言葉なのではないでしょうか。特集2に、研修会のあと「最近『この子はヤングケアラーかも?』という声が自然に出るようになりました」という一文があります。援助者も、そして子どもたち自身も、まずはこの言葉を認知することの大切さを感じました。（こ）

次号のお知らせ

●特集1 「いい子」でいようとしすぎる子
問題なく学校生活を送っているように見える「いい子」。しかし、実は自分の能力以上に頑張りすぎ、ストレスを溜めていることも。「いい子」でいようとしすぎる子への、かかわりの工夫を考えます。

●特集2 熱心な指導・かかわりが空回りするとき

指導やかかわりの意図が子どもに伝わらず、空回りしてしまうことがあります。どんなときに空回りしやすいのかを考えながら、「熱心が生きる」指導・かかわりにするための留意点を紹介します。



学校教育相談

2021年 令和3年 9月号

定価 820円（本体 745円）

2021年9月1日発行

●発行所

ほんの森出版株式会社

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <https://www.honnomori.co.jp>

●編集企画 学校教育相談研究所

●発行人 小林敏史


●印刷所 研友社印刷(株)

ほんの森掲示板



●本誌で好評連載中の「木陰の物語」の作者・団士郎先生によるオンライン講座〈先生のための「団士郎さんと家族を学ぼう」〉が開催されます。保護者対応に悩む皆さんや、ご自身の家族や子育ての在り方を見直してみたいと感じる皆さんに向けての「家族システム論」の講座です。参加費は全6回で15,000円、10月8日スタート。講座は各回20:30~22:00で、時間の都合がつかなかった参加者には録画を視聴できるサービスもあります。お忙しい毎日のことと思いますが、参加してみませんか。詳しくは本誌42ページをご覧ください。

●本誌の2021年4月号からの1年間の誌代は12,340円（税込 増刊号2冊を含みます）。振替口座 00140-4-768848 雑誌・書籍のご注文は、書店もしくは直接小社にどうぞ。本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は1冊につき送料100円（3冊以上送料サービス）でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。

● **文書ファイル配布** ページ下にこのマークが入っている ※詳しくは奥付を！ 資料のファイル（一太郎・ワード・パワポなど）を希望の方はホームページからご連絡ください。

ほんの森出版

検索